



3月 園だより

令和7年3月1日
目黒区立第三ひもんや保育園園長

ある日のこと。園庭の様子を見に行くと、テラスの端で3歳児と保育士が話をしていました。3歳児は頭を落とし元気がない様子に見えたので「どうしたの」と声をかけると、保育士が「帽子的のゴムをしたくないと言うんです」と教えてくれました。「そっか。ゴムしたくないの」と私が尋ねると小さく頷いています。どうしたものかと思っていたのですが、もしかしてゴムがきつくて嫌なのではないかと思いつき「ゴムすると痛くて嫌なのかな」と子どもに聞くと、パッと顔を上げ頭を大きく振って頷いてくれました。「そっか。それは嫌だよ。今日はゴムしなくていいよ」と声をかけると、晴れやかな表情を見せてくれ、嫌がっていたゴムを顎にかけ、帽子をかぶり遊びに戻っていきました。ダメなこと、やらなくてはいけないことなど決まりは様々ありますが、それを拒む理由が子どもたちの中にきちんとあることを感じる事が出来ました。そのことを大人がきちんと受け止めてくれると、次に進んでくれることを実感できたエピソードでした。子どもに寄り添う、思いを汲み取ることは日々の保育の中でどのクラスも大事にしています。子どもの思いに寄り添えた時の表情は格別です。子どもたちの満足したキラキラとした顔をたくさん見られるような保育を行っていきたいと思います。

今年度も保育へのご理解、ご協力ありがとうございました。子どもたちの成長と一緒に見届けることが出来て嬉しく思っております。残り1か月となりましたが、子どもたちと楽しく過ごし新年度を迎えたいと思っております。

3月の予定

卒園式（5歳児）
幼児お別れ遠足（3・4・5歳児）
お別れ遠足（5歳児）
お別れ会

身体計測・避難訓練



子どもとの関わりを通して～副園長～

ある日、5歳児クラスに行くと夢中であやとりをして遊んでいて「ほうきできるよ」「にだんばしごだよ」等、できる技を見せてくれました。一人の子が「先生はあやとりできるの」と声をかけてきたので「できるよ」と、お神輿や亀を作ってみると「すごいね。私もやってみたい。どうやってやるの」とやり方を聞いてきました。作り方を見せながらゆっくりやりますが、指の動かし方が難しく「ああ、だめだ」と言いながら何度もやってみていました。その後も何度も練習していたようで、別の日に「先生お神輿できるようになったよ」と嬉しそうに報告してくれ、目の前で見せてくれました。難しいことでも挑戦していく姿や、上手になりたいという気持ちが向上心に繋がっていくと感じた瞬間でした。



こんなに大きくなりました

ありんこ組

入園した時は這い這いしていた子どもたちですが、今は歩くことを楽しんでいきます。ただ歩くだけでなく板で一本橋を作ると、落ちないように渡ろうとしています。出来ると嬉しくて“もう一回”と繰り返し楽しんでいきます。



ちょうちょ組

友達と同じ遊びを楽しむようになってきました。保育士と一緒に「いらっしゃいませ」と言うともう一人の子も同じように玩具を並べたり、別の子は「〇〇ください」と買いに来ます。簡単なやりとりの中で、自分の思いを言葉で伝えられるようになってきています。



てんとうむし組

簡単なルールのある遊びを友達や保育士と一緒に楽しむようになってきました。しっぽとりでは、しっぽを取られることへの悔しさや葛藤もありましたが、繰り返し友達と楽しむ中でルールを知り「しっぽを取られないように逃げよう」「しっぽをたくさん取るぞ」という意欲へと繋がっています。



みつばち組

様々なことに興味を持ち、挑戦したり楽しんだりしてきました。友達との関わりも広がって「一緒に遊ぼう」と誘ってごっこ遊びをしたり、異年齢の友達の刺激を受けて転がしドッジやドロケイなど、集団の遊びも楽しむようになってきています。



とんぼ組

全員で色オニをした時のことです。オニと逃げる人に分けれると、すぐに全員で肩を組んで作戦会議を始めていました。いつのまにか育まれていた団結力に驚きました。人とつながる力が強くなってきています。



かぶとむし組

異年齢の関わりを楽しんできました。「映画作ったからとんぼ組も来ていいよ」と、食べ物や飲み物をふるまっています。また、小さい友達には優しく声をかけたり、丁寧に説明してあげたりと関わりを深めています。

